

# 平成 27 年度均等・両立推進企業表彰 受賞企業の取組内容



<均等推進企業部門> 福井労働局長優良賞 4社

## セーレン株式会社 (福井市 製造業 社員数: 1,992名 (うち女性518名))

### 企業トップが女性活躍(ポジティブ・アクション)を指示 女性の採用、管理職登用の拡大を推進

- 1 ポジティブ・アクション取組体制
  - ・経営トップが女性活躍を指示し、人事労務部を中心に推進。
- 2 ポジティブ・アクション取組内容
  - ・会社案内パンフレット等で女性社員の活躍を積極的に紹介し、女性の営業職を積極的に採用。
  - ・採用選考者に女性課長をいれて選考の中立性を確保。
  - ・交替制勤務(深夜勤務)への配置にあたり、作業手順書を作成し、研修会も実施。
- 3 ポジティブ・アクション取組成果
  - ・管理職登用: 女性課長職 平成25年度 4名 → 平成26年度 5名 (現在6名)
  - ・女性の採用: 女性営業職 平成25年度 3名 → 平成26年度 5名
  - ・職域拡大: 交替制勤務 平成24年度 2名 → 平成26年度 4名

## 南越建設工業株式会社 (越前市 建設業 社員数: 24名 (うち女性3名))

### 総務部長(女性)が中心となり取り組み 男女を問わず、建設業への就職、定着を促進するための取組を推進

- 1 ポジティブ・アクション取組体制
  - ・社長の全面的バックアップのもと総務部長を中心として取り組みを推進。
  - ・品質向上のための組織効率化、作業手順の明確化の取組の一環として、男女問わず活躍できる職場環境を整備。女性に特化しない取組姿勢により男性社員の理解も早く、スムーズに意識改革が実現。
- 2 ポジティブ・アクション取組内容
  - ・建設業の理解促進のため、学生とその保護者を対象に見学バスツアーを実施。
  - ・社内研修を実施し、女性活躍の意義、必要性を啓発。
  - ・キャリアアップ、管理職登用に向けて資格取得を奨励。
  - ・仕事の見える化ができる手順書を作成し業務効率化を促進。
- 3 ポジティブ・アクション取組の成果
  - ・女性の採用: ダンプ運転手1名、建築士1名を採用。現場付近に女性専用トイレを設置。
  - ・管理職登用: 女性主任が育児休業中に専門資格を取得し、復帰後に係長昇任。
  - ・その他: 業務効率化により残業が減少。その結果、20代の社員全員(6名)が国家資格を取得し定着している。

# 西田建設株式会社 (福井市 建設業 社員数: 26名 (うち女性7名))

工事部門女性採用にあたり、全社員アンケートを実施して育成方法を検討  
工事、営業の知識・スキル・資格取得支援のため各種研修会への参加を奨励

## 1 ポジティブ・アクションの取組体制

- ・平成21年8月 社長指示により女性の積極的採用・人材育成の取組を開始。

## 2 ポジティブ・アクションの取組内容

- ・工事部女性社員が、会社説明会、各学校などで、対外的に建設業の魅力を発信、紹介。
- ・工事部門の女性採用にあたり、事前に全社員を対象に新入社員教育に関するアンケートを実施して育成方法を検討。全社体制で工事部門の女性の受け入れ、育成を行うという意識を醸成。
- ・工事・営業の知識・スキル・資格取得支援のため、各種研修会・勉強会への参加を奨励。
- ・これまで補助的な業務に就いていた事務部門女性を、工事費積算関連の研修会や、社内工事部会勉強会に出席させ職域を拡大。

## 3 ポジティブ・アクション取組の成果

- ・女性の採用:平成22年度 工事部門1名 平成25年度 営業部門1名採用。
- ・管理職登用:女性課長職 平成24年 0人 → 平成26年 3人 (営業部門1名、事務部門2名)  
女性係長職 平成24年 0人 → 平成26年 1人 (工事部門)

# 国立大学法人福井大学 (福井市 学校教育 社員数: 2,654名 (うち女性1,591名))

女性研究者比率向上のための支援事業を実施  
相談窓口、メンター制度の導入により育児など両立支援の相談にも対応

## 1 ポジティブ・アクション取組体制

- ・学長直下の組織として「男女共同参画推進センターを設置」。「女性研究者活動支援部門」を設け、女性研究者の活動を支援。

## 2 ポジティブ・アクション取組内容

- ・研究者募集要項で、「業績評価が同等の場合は女性を積極的に採用する」旨を記載し、女性研究者を積極的に採用。
- ・相談窓口、メンター制度の導入により、女性研究者のキャリア形成、育児など様々な相談に対応できる体制を整備。
- ・学内研究費助成の選考において、出産や育児、介護等のライフイベントによる研究中断、研究期間延長を認める制度改正を実施。
- ・ライフイベント期間中の女性研究者に対して、研究支援者の配置に係る経費を助成

## 3 ポジティブ・アクション取組の成果

- ・女性の採用:女性研究職数 (比率) 平成24年度 93名 (14.7%) → 平成26年度 124名 (18.2%)

## 学校法人金井学園

(福井市 学校教育 社員数:541名(うち女性204名))

公開講座の企画運営を女性に任せた結果、大成功  
その実績を評価し、女性の活躍、役職登用を推進

### 1 ポジティブ・アクション取組内容

- ・平成15年 公開講座の企画運営を女性社員が中心に行った結果、大成功。企画業務についての女性のキャリア形成を促進。
- ・これまで女性の配置が少なかった学生募集等の外勤業務に女性を配置。
- ・役職昇任候補者に外部のリーダー研修を受講させ計画的に育成。

### 2 ポジティブ・アクション取組の成果

- ・女性管理職登用：

	平成25年度		平成27年度
部長職	1名	→	1名
課長職	7名	→	11名
係長職	7名	→	7名

## 国立大学法人福井大学 (福井市 学校教育 社員数:2,654名(うち女性1,591名))

### アンケート調査の実施により両立支援についてのニーズを把握

#### 法を上回る育児・介護休業制度等の整備状況及び利用状況

##### <育児休業>

子が3歳まで(正規職員)取得可能。

女性取得者:169名 取得率90%(過去3年間)

男性取得者:1名(過去3年間)

##### <介護休業>

通算186日まで(正規職員)、分割取得可能。

取得者 女性3名(過去3年間)

##### <育児のための勤務時間短縮等の措置>

・小学校就学前まで利用可能な事業所内保育施設を設置。

・小学校3年生までの子を持つ労働者(正規職員等)を対象に、1日の所定労働時間を短縮する短時間勤務制度の他、週の所定労働日数を減らした勤務形態等、数パターンから選択することが可能(利用者118名(過去3年間))。

##### <看護休暇・介護休暇>

半日、時間単位で取得可能(有給)。

取得者:女性358名、男性21名(過去3年間の延人数)

##### <その他>

休業中も学内電子掲示板に学外からアクセス、情報共有を可能とし、円滑な職場復帰を支援。